

# 建物利用状況

## (1) 建物利用状況の機能と目的

建物利用状況では、住宅や商業ビル、オフィスビルなど全国約 3,800 万棟の建物について、建物種別、事業所種別、階数、面積別等に建物件数を確認できます。また、住宅については、戸建て・共同住宅等の種類別に戸数・部屋数を把握できます。

都道府県・市区町村内でどのような建物や住宅が多いのか知ることができる他、推移を確認することで、増えている建物・減っている建物の種類を把握することもできます。

また、このマップでは、500mメッシュ単位または 250m メッシュ単位（政令市および東京 23 区のみ）による表示も可能となっており、特定の建物が多い地域を見つけることもできます。

建物の種類はそこを訪れる人々の行動や目的を知る手がかりであり、各種の建物の集積状況から、その地域の性格や構造の特徴を検討することができます。



- 株式会社ゼンリン「建物統計データ」  
<https://www.zenrin.co.jp/product/category/gis/contents/building-statistics/index.html>



- 建物利用状況の画面の表示方法については、「基本的な使い方」を参照



- 本データは RESAS 向けに再編集したデータ項目となっています。
- 面積および階数は実際の面積・階数ではなく現地調査に基づく推定値となります。
- 建物の面積はゼンリン住宅地図データの建物形状の面積となります。
- 戸建ての空き家、共同住宅の空部屋は、各年のゼンリン住宅地図データ（Zmap-TOWN II）調査の名称なしの戸建て及び共同住宅の部屋数を基に集計処理されているため、実際の空き家・空部屋件数と異なります。
- 共同住宅のオートロックの建物については、部屋数・階数が不明となっています。



## (2) 建物利用状況の内容

指定した表示内容における建物の種類、延床面積、部屋数ごとに枠が表示されます。

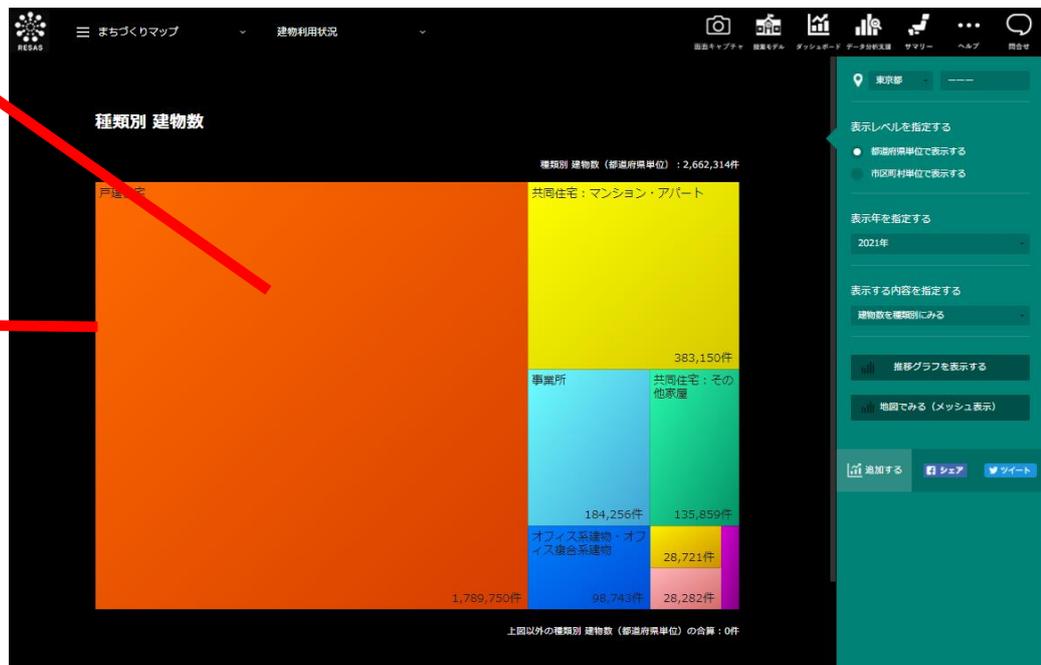
### ● 枠の大きさ

右メニューの「表示する内容を指定する」の指定内容に対して、シェアが最も大きいものから順に、左上から並びます。

### ● 枠の背景色

右メニューの「表示する内容を指定する」の指定によって、建物の種類別、延床面積別、部屋数別で色分けして表します。

※初期表示項目：都道府県単位で表示する、2021年、建物数を種類別にみる



株式会社ゼンリン「建物統計データ」



- ・ 住居系建物とは、建物名称が事業所名称を持ち、総部屋数の50%以上が個人の家屋となっている建物を指します。  
(例：個人の所有ビルで事業所と自宅兼賃貸の部屋を保有しているような建物)
- ・ その他家屋とは、「事業所兼住宅」と「判別が不能な建物」の合計を指します。

### (3) 右メニューの説明

右メニューでは、左の建物利用状況の表示内容について設定します。



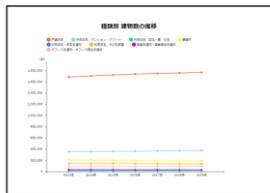
- **表示レベルを指定する**
  - ・ **都道府県単位で表示する**  
建物利用状況を、都道府県単位で表示する場合に指定します。
  - ・ **市区町村単位で表示する**  
建物利用状況を、市区町村単位で表示する場合に指定します。

- **表示年を指定する**
  - ・ 表示する内容の対象年を指定します。

- **表示する内容を指定する**  
以下の項目から見たい項目を指定します。

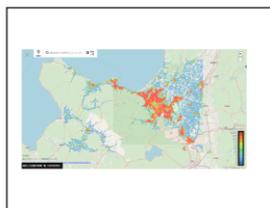
- ・ 建物数を種類別にみる
- ・ 住居数を種類別にみる
- ・ 事業所数を種類別にみる
- ・ 空家数を種類別にみる
- ・ 戸建住宅数を延床面積別にみる
- ・ 共同住宅建物数を延床面積別にみる
- ・ 共同住宅建物数を部屋数別にみる
- ・ 事業系建物数を延床面積別にみる
- ・ 事業系建物数を部屋数別にみる
- ・ 複合建物数を延床面積別にみる
- ・ 複合建物数を部屋数別にみる

- **推移グラフを表示する**  
クリックすると、時系列として各データの実数値の推移（折れ線グラフと積み上げグラフ）と構成比の推移（積み上げグラフ）を見ることができます。



建物利用状況の推移グラフについての詳細は、(4)を参照

- **地図で見る (メッシュ表示)**  
500m メッシュ、250m メッシュ（政令市および東京 23 区のみ）を選択し、透過率 50%（薄いメッシュ）と 80%（濃いメッシュ）を選ぶことができます。



建物利用状況のメッシュ表示についての詳細は、(5)を参照



## (4) 建物利用状況の推移グラフを表示する

推移グラフでは、指定した地域ごとに種類別、延床面積別、部屋数別で建物数の推移を見ることができます。

まず、右メニューの「表示する内容を指定する」で以下より項目を選択します。

- 建物数を種類別にみる
- 住居数を種類別にみる
- 事業所数を種類別にみる
- 空家数を種類別にみる
- 戸建住宅数を延床面積別にみる
- 共同住宅建物数を延床面積別にみる
- 共同住宅建物数を部屋数別にみる
- 事業系建物数を延床面積別にみる
- 事業系建物数を部屋数別にみる
- 複合建物数を延床面積別にみる
- 複合建物数を部屋数別にみる

選択した項目については、3種類のグラフで推移を見ることができます。

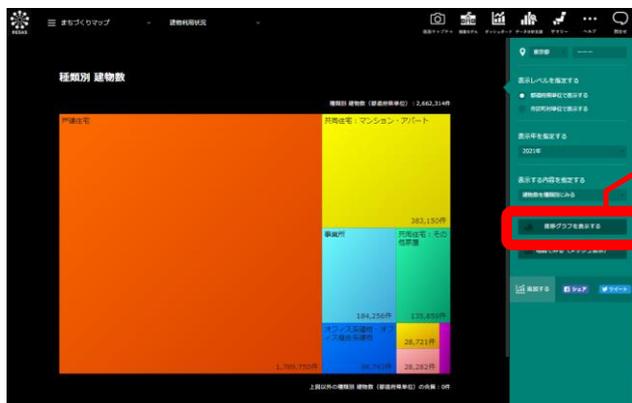
「表示方法を指定する」で以下の3種類のグラフから選択します。

- 実数の推移をみる（折れ線グラフ）
- 実数の推移をみる（積み上げグラフ）
- 構成比の推移をみる

※折れ線グラフのみ、グラフ内に表示させる要素を選択することができます。

## <推移グラフの表示方法>

1 右メニューの「推移グラフを表示する」をクリックします。



推移グラフを表示する

株式会社ゼンリン「建物統計データ」

2 折れ線グラフに切り替わります。



表示方法を指定する

- 実際の推移を見る (折れ線グラフ)
- 実際の推移を見る (積み上げグラフ)
- 構成比の推移を見る

表示要素を選択する

- すべてを選択する
- 戸建住宅
- 共同住宅：マンション・アパート
- 共同住宅：団地・寮・社宅
- 共同住宅：住宅系建物
- 共同住宅：その他家屋
- 事業所
- 商業系建物・商業複合系建物
- オフィス系建物・オフィス複合系建物

株式会社ゼンリン「建物統計データ」

折れ線グラフが表示された後、「表示方法を指定する」のラジオボタンを選択することで、積み上げグラフや構成比の推移をみることができます。

※折れ線グラフの画面でのみ、「表示要素を選択する」表示があらわれ、表示したい要素のみ選択できるようになります。最初はすべての要素が表示されているため、表示させたくない要素はチェックボックスを外してください。

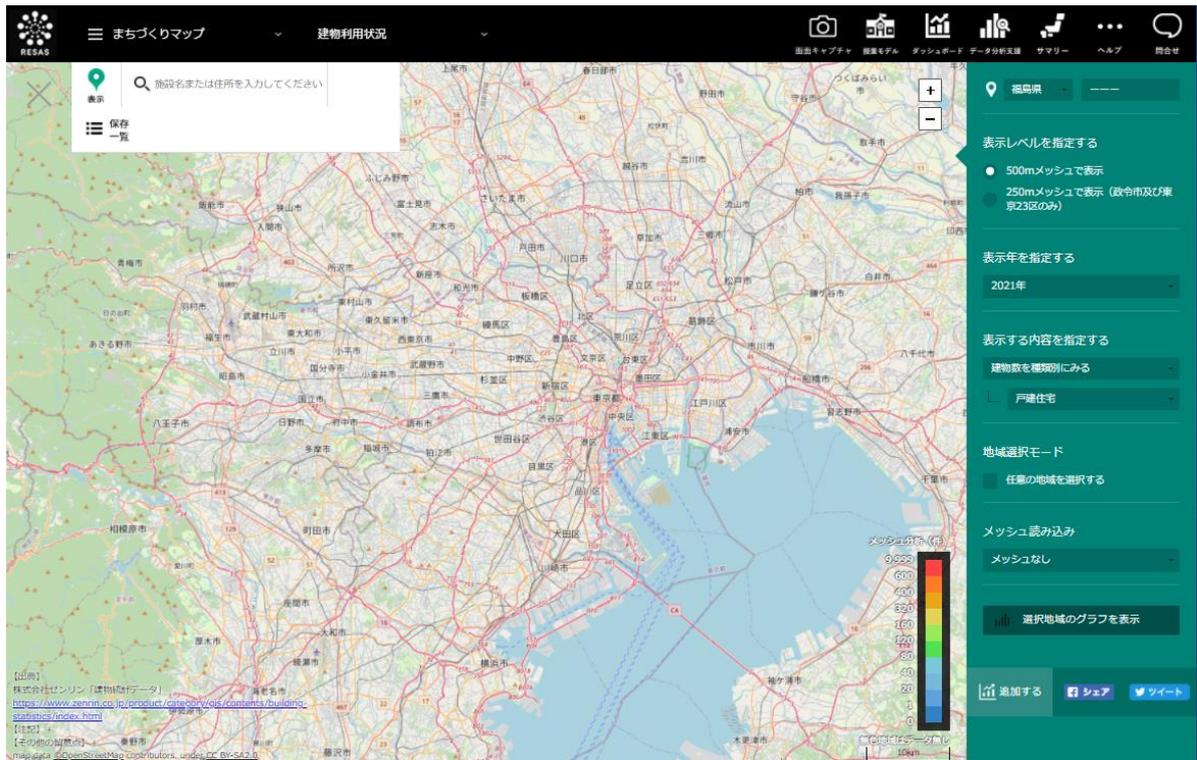
## (5) 地図で見る（メッシュ表示）

「表示する内容を指定する」で選択している内容について、メッシュを読み込み時に実数の多い地域（または増減率）ほど 10 段階で暖色の濃い色で表示されます。

「指定地域」で選択している市区町村を中心とした地図が拡大表示されます。「表示する内容を指定する」で任意の項目を選択し、「メッシュを読み込む」をクリックすることでメッシュ分析結果が地図上に表示されます。

推移グラフでは、指定した地域の項目ごとの推移を見ることができます。

※初期表示項目：500m メッシュで表示、2021 年、建物数を種類別にみる・戸建住宅、メッシュなし



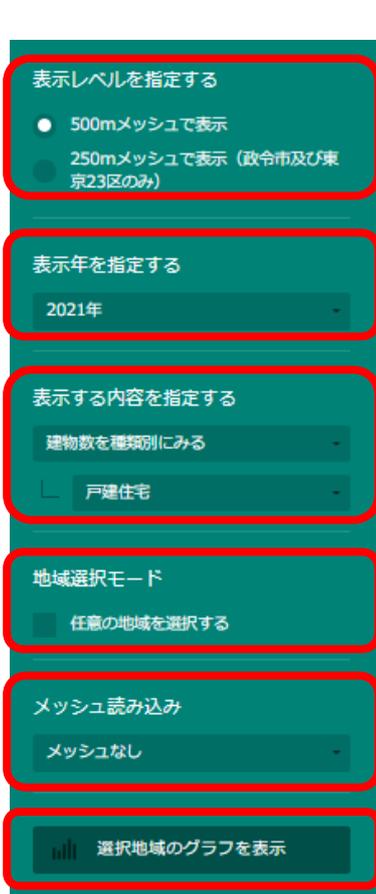
株式会社ゼンリン「建物統計データ」



- ・ 画面上に表示されるメッシュは、行政管理庁告示第 143 号「標準地域メッシュ」に準じて作成されています。
- ・ 標準地域メッシュは、緯度経度によって区切られた区画であり、具体的には下記の定義となります。
- ・ 500mメッシュ：緯度 15 秒－経度 22.5 秒で区切られる区画（一片の長さ約 500m）になります。
- ・ 250mメッシュ：緯度 7.5 秒－経度 11.25 秒で区切られる区画（一片の長さ約 250m）になります。
- ・ なお、各メッシュの一片の長さはおおよその数値であり正確に 500m（250m）の正方形になりません。
- ・ また、地球が球体であるため、南北位置によってメッシュの大きさは若干異なります。

## (6) 地図で見る（メッシュ表示）右メニューの説明

右メニューでは、地図で見る（メッシュ表示）左のメッシュの表示内容について設定します。



- **表示レベルを指定する**
  - 500mメッシュで表示  
データ反映範囲を 500m表示する場合に指定します。
  - 250mメッシュで表示（政令市および東京 23 区のみ）  
データ反映範囲を 250mで表示する場合に指定します。ただし、政令市および東京 23 区のみ表示対象となります。
- **表示年を指定する**  
表示する内容の対象年を指定します。
- **表示する内容を指定する**  
各表示内容を（種類別、延床面積別、部屋数別）で表示させる項目を指定します。
- **地域選択モード**  
あらかじめ指定地域を選択しているとその地域の状況を表示することができます。
- **メッシュ読み込み**  
クリックすると、メッシュなしまたは、メッシュの透過率に応じたメッシュを画面に読み込みます。
  - メッシュなし
  - 透過率 50%（薄いメッシュ）
  - 透過率 80%（濃いメッシュ）
- **選択地域のグラフを表示**  
地域選択モードで選択した地域の表示内容をグラフ表示します。

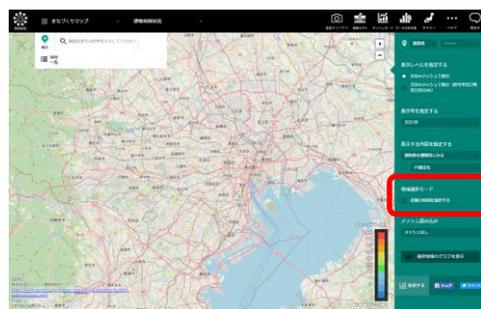
地域選択モードについての詳細は、[\(5\)](#)を参照

## (7) 「地域選択モード」での地域の選択

(6) 地図で見る（メッシュ表示）の「地域選択モード」で「任意の地域を選択する」のチェックを入れると、マップ上の任意の範囲で地域を選択できます。地域は6ヶ所まで選択でき、任意の名称を付けられます。

ここで地域を選択することにより、選択した地域同士の表示内容の推移をグラフで比較できるようになります。

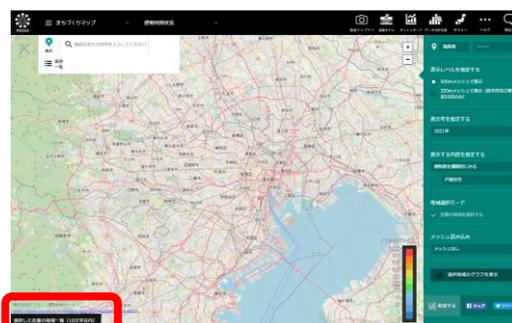
- 1 右メニューで、「任意の地域を選択する」のチェックを入れます。



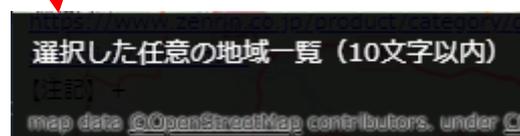
株式会社ゼンリン「建物統計データ」



- 2 「地域選択モード」になります。



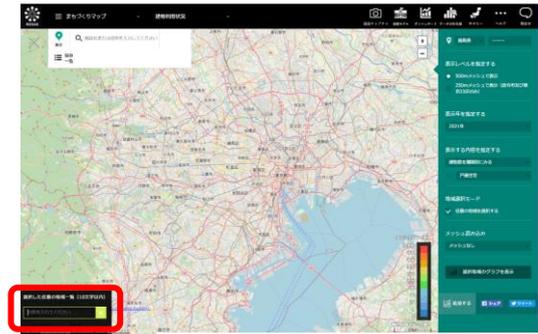
株式会社ゼンリン「建物統計データ」



3 マップ上の任意の位置でマウスをクリックし、選択したい範囲と大きさになるようにドラッグすると、選択枠（カラーが自動的に割り振られます）が表示されます。

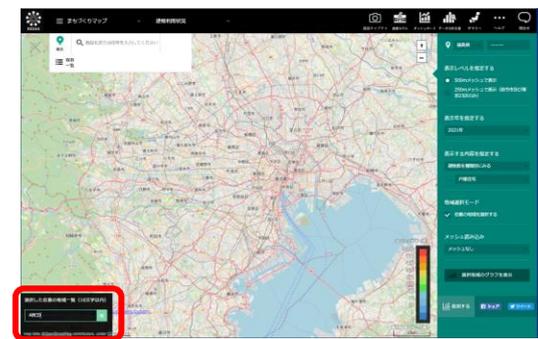
マウスを離すと選択枠が固定されます。

画面左下に「選択した任意の地域一覧」のポップアップが表示され、選択した任意の地域に名称を入力することができます。



株式会社ゼンリン「建物統計データ」

4 ポップアップの入力欄に名称を入力して Enter キーを押すと、地域が追加されます。



株式会社ゼンリン「建物統計データ」



- 「地域選択モード」の「任意の地域を選択する」で、選択したメッシュの表示内容を見る場合、選択枠の範囲に含まれているメッシュがその対象となります。
- マップ上でズームインやズームアウトなどの操作を行うときは、「任意の地域を選択する」のチェックを外して、通常モードに戻った上で操作してください。
- 通常モードや他のマップに遷移しても、一度選択した地域の範囲は保持されます。
- 地域の選択を取り消したいときは、「選択した任意の地域一覧」の地域の名称の右側にある「×」ボタンをクリックして、一覧から削除してください。
- 選択した地域の範囲や名称は、地域を追加した後で変更はできません。変更したい場合は、「選択した任意の地域一覧」から地域を削除して、あらためて選択してください。
- 地域の名称は、半角・全角あわせて 10 文字以内で入力してください。それ以上の文字数は入力できません。
- 複数の地域に対して同じ名称を入力することが可能です。



## (8) 任意の地域における表示内容の推移をグラフで見る

任意の地域表示内容メッシュの推移を比較する折れ線グラフが表示されます。

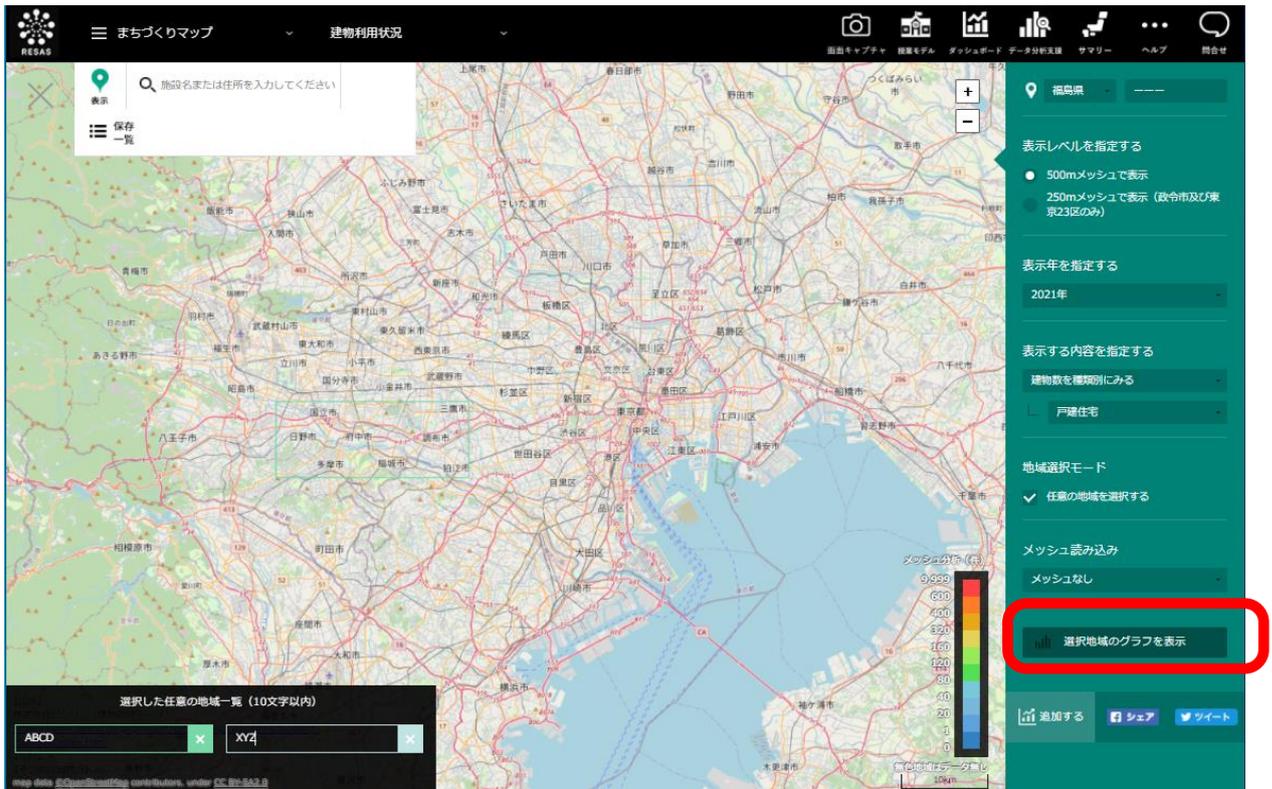
「地域選択モード」で選択した地域同士で、表示内容の推移や構成比を確認することができます。



・ 「地域選択モード」についての詳細は、(7)を参照

### ＜グラフの表示方法＞

右メニューの「グラフを表示」をクリックします。



株式会社ゼンリン「建物統計データ」

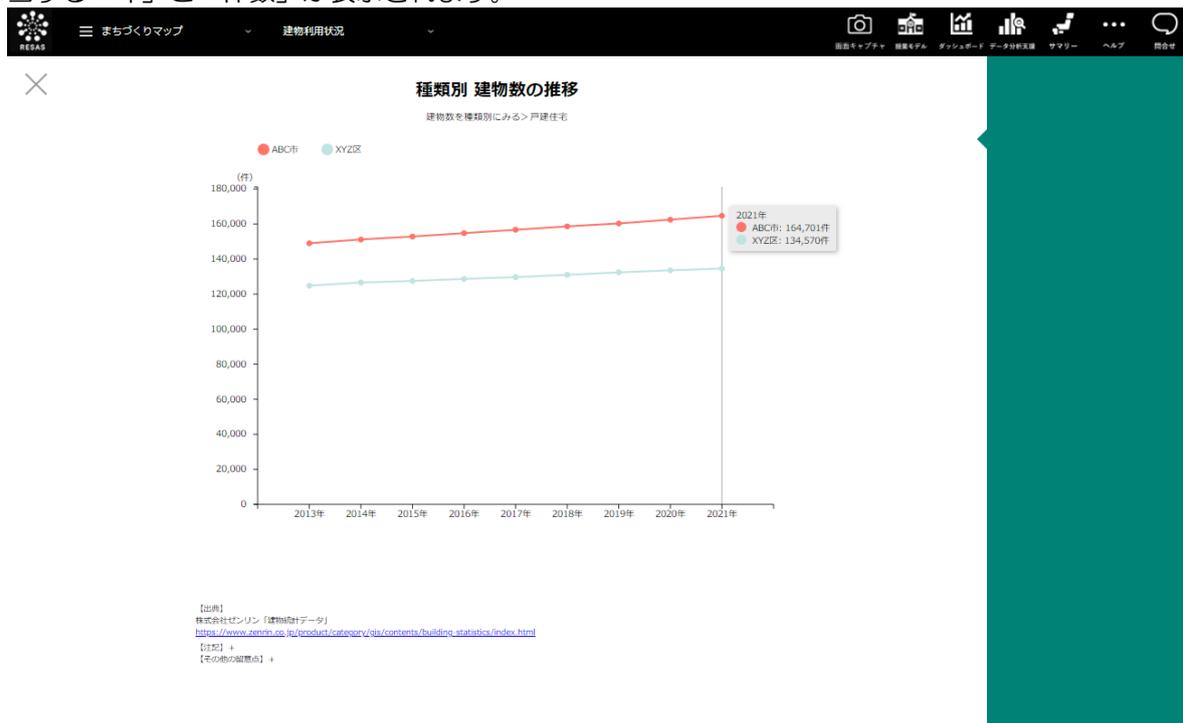
➡ 折れ線グラフが表示されます。

## <表示されるグラフの種類>

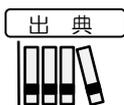
### ■ 選択地域の推移（折れ線グラフ）

「地域選択モード」で選択した地域について、指定した表示内容の年別推移を表す折れ線グラフです。年別推移の年は2013年～2021年となります。

折れ線グラフと年が交差する位置には、●が表示されます。グラフ上にマウスオーバーすると、該当する「年」と「件数」が表示されます。



株式会社ゼンリン「建物統計データ」



- 株式会社ゼンリン「建物統計データ」  
<https://www.zenrin.co.jp/product/category/gis/contents/building-statistics/index.html>



- 「地域選択モード」で任意の地域の選択を行っていない場合は、グラフは表示されません。